科目名	強化演習 4						年度	2025	
英語科目名	Strength Training Seminar 3						学期	後期	
学科・学年	スポーツ健康学科 サッカーコース 2年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	永山、樋口(マリノス)、八重樫、志佐	教員の実務経験 有 実務経験の職種 クラブチー		ーム、大学サッカー部 カーコーチとして従事					

【科目の目的】

他会場への移動ならびに練習試合において、日頃のサッカートレーニング、フィジカルトレーニング、ゲーム分析を通じ、最大限のパフォーマンスを発揮を目指す。また、トライ&エラーをおこない、特にエラーについてはゲーム分析ならびトレーニングにて改善をし次戦では改善されたパフォーマンスが発揮できるようにする。

【科目の概要】

サッカーで強豪とされる地域への遠征ならびに練習試合を通して、チームの競技力向上を図ります。また、練習試合後に振り返りを行います。

【到達目標】

- A. 個人としてのトライを行いエラーの理解をもとに修正できる
- B. チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解をもとに修正できる
- C. 試合に勝利するために協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる
- D. 他会場へ移動が発生する際のチームの一員としての振る舞いや行動時間厳守が確実にできる

【授業の注意点】

遅刻、欠席の場合は、授業前に教員室へ電話連絡をすること。安全性を確保すること。(学生自身の十分な体調管理、ゲーム環境の確認と設営)夏季は熱中症対策を強化する。(各自水分補給を行うこと、回数の確保)授業時間数の4分の3以上出席しない者は評価対象外となり単位認定を認めない。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル 1 要努力		
到達目標 A	個人としてのトライを行 いエラーの理解をもとに 修正できる		個人としてのトライを行 いエラーの理解が理解で きる		個人としてのトライを行 いエラーの理解が理解で きない		
到達目標 B	チーム戦術の中で、個人 としてのトライを行いエ ラーの理解をもとに修正 できる		チーム戦術の中で、個人 としてのトライを行いエ ラーの理解ができる		チーム戦術の中で、個人 としてのトライを行いエ ラーの理解ができない		
到達目標 C	試合に勝利するために協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる		試合に勝利するため協 調、コミュニケーション がチームの一員としてと れる		試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれない		
到達目標 D	他会場へ移動が発生する 際のチームの一員として の振る舞いや行動時間厳 守が確実にできる		他会場へ移動が発生する 際のチームの一員として の振る舞いや行動時間厳 守ができる		他会場へ移動が発生する 際のチームの一員として の振る舞いや行動時間厳 守ができない		

【教科書】

必要に応じて資料を配布する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

実技レベルのパフォーマンス向上度、積極的な授業参加度、授業態度にて評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		強化	年度	20	025		
英語表記			Strength Training Seminar 3				後期 しんしん
回数	授業テーマ	各授業の目的 授業内容 到達目標=修得するスキル			評価方法	己評	
	/		1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			1
練習試合 ① 1 社会人 地域リーグ		2 試会山 個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー					
		#ってプレーが行える 3 試合後 クールダウン、振返りを適切に行える					
	練習試合② 社会人 都県1部2部 リーグ		1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
2			2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を	1	
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える			
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
3	3 練習試合③大学		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
		-	3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		1	
		1	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える	1		
4	4 練習試合④ クラブユース		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
		-	3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える			
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
5	練習試合⑤ 高校		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
	南仪		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		_	
	44-353-A A 60		1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
6	練習試合⑥ 社会人		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
	地域リーグ	-	3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える			
	練習試合⑦		1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
7	社会人 都県1部2部		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
	リーグ		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		1	
		他会場においても試合 で勝利するために個	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
8	練習試合⑧ 大学	人、チームがトライ&	2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を	2	
		エラーを行い競技力を - 向上させる	3 試合後				
		1	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
9	練習試合⑨ クラブユース		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を	1	
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える			
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		1	
10	練習試合⑩ 高校		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
	III I		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える			
	練習試合⑪		1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
11	社会人		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
	地域リーグ		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える			
	練習試合⑫	1	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
12	社会人 都県1部2部		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
	リーグ		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える			
		7	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
13	練習試合⑬ 大学		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
			3 試合後 クールダウン、振返りを適切に行える			1	
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
14	練習試合⑭ クラブユース		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える			
		1	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
15	練習試合⑮ 高校		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラー、 持ってプレーが行える	向上心を		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える			
評価	<u> </u>		3. その他	•			-

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった